



## こどもまんなかトークinいわきアカデミア

実施日

令和7年10月22日（水）

発表日

令和7年12月10日（水）

参加者

県立磐城高等学校1年生6名

テーマ

こども・子育て支援

趣旨

「みんなが想像するいわきの未来」をテーマに、少子化などの課題と、これから必要なこども・子育て支援について意見を出し合いました。後日、自分たちの考えをまとめて発表しました。



## 参加者の発表内容（抜粋）

課題として、少子化の進行を挙げました。

### 【課題】

少子化が進み子どもが減少している

#### ＜設定した理由＞

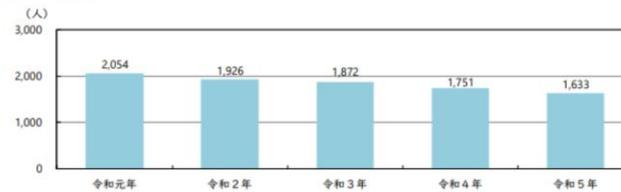
少子化が進むことで、「10年後のいわき」ビジョンである「すべての世代が生き生きと交流し、誰もが住みやすい活気あふれる町」から遠ざかってしまうと考えたため。



高校生作成スライドより

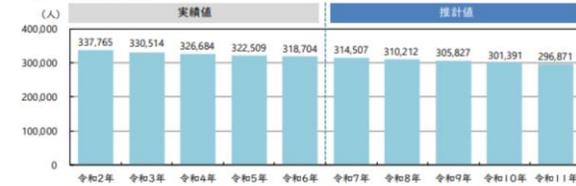
背景として、出生数の減少や児童人口の割合の低下などを例に出しました。

出生数の推移



資料：いわき市の人口（各年度実績）

継続人口の推移と推計



資料：いわき市の人口（各年4月1日現在）

出生数が減ってる  
そりゃあ  
少子化進むよお

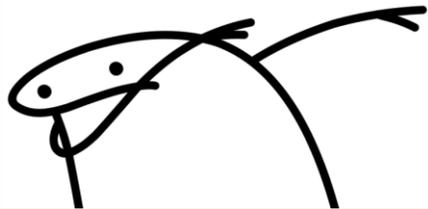
どんどん子供が  
減っていく...

高校生作成スライドより

## 参加者の発表内容（抜粋）

高校生の生の声を把握するために、  
同級生へのアンケートを実施しました。

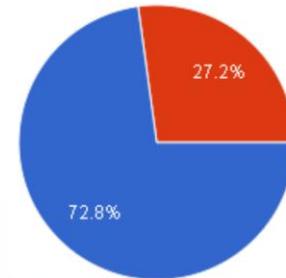
280人中81人の髻高1年生に  
アンケート調査をしました！



高校生作成スライドより

こどもが欲しいという回答の割合が多い一方で、  
子育てに不安を感じていることがわかりました。

将来、子供が欲しいと思いますか？

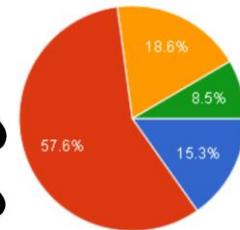
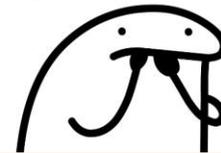


● はい  
● いいえ

子供が欲しくない理由

- ・自分に時間をかけたい
- ・お金がかかる
- ・子供をしっかりと育てる自信がない

一人の子供を育てるのに  
1,000万~2,000万  
かかるみたいだよ

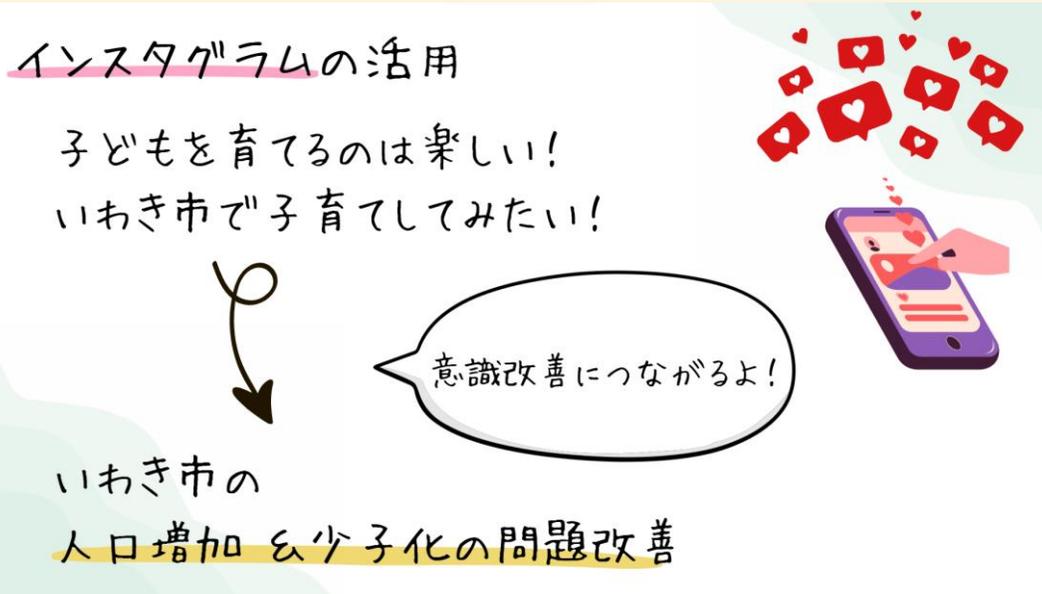


● 1人  
● 2人  
● 3人  
● 3人以上

高校生作成スライドより

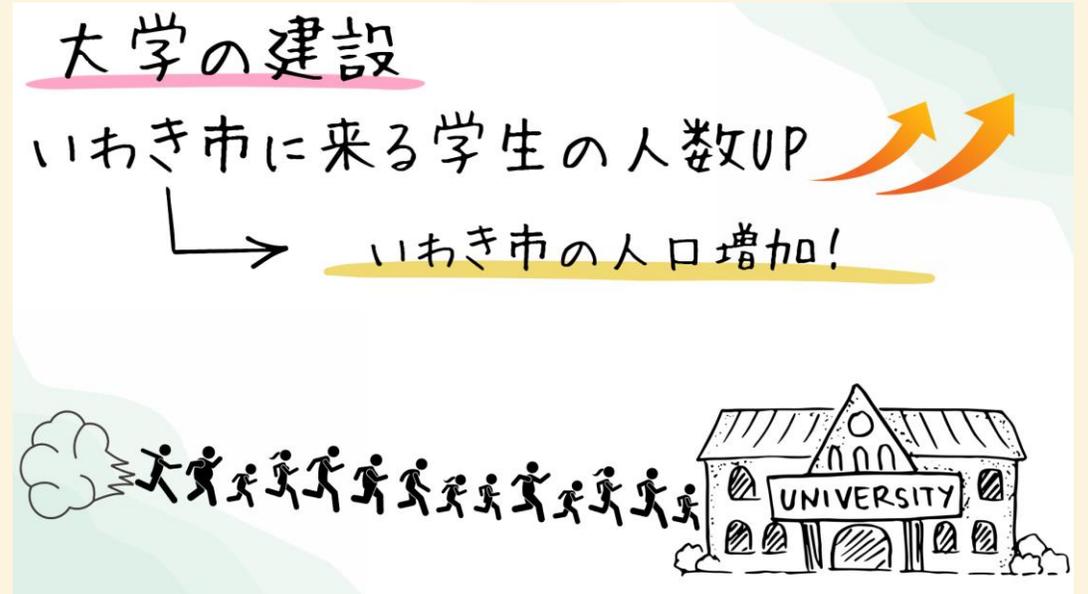
## 参加者の発表内容（抜粋）

対応策の1つとして、  
市が運用しているインスタグラムの活用を  
挙げました。



高校生作成スライドより

また、  
市内の大学の数を増やして、  
若者の流出を減らし、流入を増やす案を考えました。



高校生作成スライドより

## ～こどもまんなかトークinいわきアカデミアを終えて～

「こども・子育て支援」という大きなテーマの中から、少子化の進行を課題として捉え、その背景や理由を市の資料や同級生のアンケートから調査し、分析するだけでなく、その対応案も考えることができていました。

高校生を子育て支援の対象（こども）としてだけでなく、将来親になり子育てをする世代として捉えている視点も学びになりました。

今の高校生が、本市で結婚し、子育てをすることに希望が持てるようなまちづくりが求められていると感じます。

また、発表に使用したスライド作成の技術や、説明の構成など、とてもわかりやすい発表となっており、参加者の技術の高さを感じました。

今回の活動で得た気づきなどを、市のこども・子育て支援施策にも活かしていきたいと思います。